

～すこやかな妊娠・出産・子育てのために～ 妊婦健診・産婦健診を受けましょう

妊娠中は、普段よりいっそう健康管理に気を付ける必要があります。妊娠がわかったら、市へ早めに「妊娠届」を出し、「親子（母子）健康手帳」と「妊婦健康診査受診票」、「産婦健康診査受診票」を受け取りましょう。

妊婦健診

Q そもそも、なぜ妊婦健診を受ける必要があるのかしら。妊婦は病気になるのに...

妊婦健診は、妊婦さんや赤ちゃんの健康状態を定期的に確認するために行うものです。そして、医師や助産師などに、妊娠・出産・育児に関する相談をして、妊娠期間中を安心して過ごしていただくことがとても大切です。



Q 妊婦健診は、基本的にはいつ、何回くらい受ければよいのですか？

おなかの赤ちゃんの成長や、妊婦さんの変化を定期的に確認していくことが大切です。妊娠の経過によって、健診の時期・回数は異なります。
【受診回数目安】
妊娠初期から妊娠 23 週までは 4 週間に 1 回、
妊娠 24 週から妊娠 35 週までは 2 週間に 1 回、
妊娠 36 週から出産までは週 1 回
*受診票を活用することで、妊婦健診費用（14 回分）の公費による補助が受けられます。

Q 妊婦健診を受けていないと、どのようなリスクがありますか？

もともと健康な方であっても、妊娠中は、体調の変化が起こりやすくなります。安全出産のためには、異常を早期に見出し、適切な治療や保健指導を受けることが重要です。

Q 妊婦健診を受けていなくても、産科の病院へ行けば出産はできますか？

妊婦健診を受けず、陣痛が始まってから病院に運ばれる方が、残念ながらいらっしゃる場合があります。病院側では注意しなければならない病気があるのか、赤ちゃんが順調に育っているのかなど、これまでの経過が全く分からず、妊婦さんと赤ちゃんにとって非常に危険な出産になります。必ず、妊婦健診は定期的に受けましょう。



産婦健診

Q 産婦健康診査とはどんな健診ですか？

出産後間もない時期のお母さんのこころとからだの健康状態を確認する健診です。お母さんの状態に応じて、必要と思われるサービスをご案内します。

Q どの病院で使えますか？

うるま市が委託する医療機関、助産院で利用できます。うるま市ホームページ「産婦健康診査の公費助成について」の産婦健診実施医療機関・助産所一覧表をご確認ください。

Q 受診料はかかりますか？

うるま市が委託した医療機関で実施する産婦健診費用について、1回5000円の2回(上限)について、うるま市が負担します。
*上限を超えた額については、自己負担となります。
*赤ちゃんの1か月健診等、受診票に記載のない健診、治療や投薬等については助成対象外となります(受診者負担)

Q 分娩した医療機関では受診票が使えません。別の医療機関で産婦健診してもいいですか？

受診を希望する産科医療機関等にご相談ください。妊娠中の経過や分娩時の状況について、分娩した医療機関等からお伝えいただく必要があるかもしれません。



11/13 税について正しい理解を
「小学生の税に関する絵がき」、「中学生の税についての作文」、「税に関する高校生の作文」において、優秀と認められた生徒達への表彰式が市役所大講堂にて行われました。今年度うるま市からは、小学生8人、中学生11人、高校生1人の計20人が各主催団体から表彰を受けました。



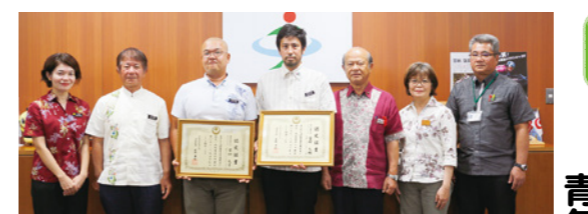
10/31 具志川シャークス 生涯スポーツ 優良団体表彰受賞
少年野球チーム「具志川シャークス」が生涯スポーツ優良団体表彰を受賞し、その報告のため関係者らが市役所を訪れました。この賞は、シャークスが長年にわたる少年野球を中心としたスポーツの振興と青少年の健全育成、地域行事への参加などに尽力したことが評価され、文部科学大臣から表彰されました。



11/1 納め忘れはないですか？ 市税等納付推進月間
市民の皆様から収めていただく市税等は、教育や福祉などの身近な行政サービスに使われる大切な財源です。市税等の納付意識を高めるため、市では11・12月を「市税等納付推進月間」と定めています。11月1日に市役所にて出発式が行われ、ミスうるまらが市役所をはじめ、市内各商業施設で納付推進のPR活動を行いました。



10/15 九州大会県予選、熱戦を制す！ ママさんバレー「LINE」優勝報告
8月に行われた「第45回おきぎんカトルアカップ九州ママさんバレーボール優勝大会沖縄県予選会1部」において、見事優勝を果たしたママさんバレーボールチーム「LINE」のメンバーが、島袋市長へ優勝の報告を行いました。今回の優勝で11月15日から開催される九州大会への出場が決定。中国弘美キャプテンは、「応援してくれる方々に恥じないよう、頑張りたいです」と抱負を述べました。



10/16 地域農業の担い手として 青年農業士に認定
農業に対するこれまでの活躍が認められ、当間大樹さん(石川山城と富山大吉さん(石川伊波)が青年農業士に認定され、報告のため関係者らと共に市役所を訪れました。青年農業士とは、農業経営の改善や地域農業の振興などに活躍している若い農業者を、地域農業の担い手として知事が認定します。



11/16 本市友好都市・盛岡市の旬の味覚！ いわて盛岡デー開催
本市と友好都市提携を結んでいる若手県盛岡市の物産を紹介する「いわて盛岡デー」が、イオン具志川店にて開催されました。16日の開催記念セミナーには谷藤盛岡市長らが訪れ、島袋市長とともに、盛岡の旬の味覚をPRしました。また、同イベントでは盛岡市の伝統芸能「さんさ踊り」も披露され、会場は大きな盛り上がりとなりました。



11/6 農業から食育 津堅小中学校 地元農家と農業体験
地元の農業に興味を持ち、生産から加工、販売体験を行うことを目的に、津堅小中学校の生徒16名が、JAや地元農家と一緒に、農作物の植付体験を行いました。



沖縄県畜産共進会
10月23日から11月1日にかけて、同会が開催され、本市の生産者の方々が優秀な成績を収めました。
【山羊品評会】
若齡雌 優秀2席 和宇慶 宏(兼筒段)
優秀3席 和宇慶 宏(兼筒段)
成雌 優秀2席 名護 正清(天願)
【畜産共進会】
肉用牛 畜種部門 若雌第1類 優秀2席 宜野座 嗣敏(兼筒段)
肉牛 枝肉部門 優秀3席 石川 豊(石川)